

(4) 高山植物

三本槍岳は、標高1916.9メートルの高山である。昔、若松から、江戸（東京）へ殿様も通ったことのある松川街道、または、会津中街道ともいわれる道がある。今は、林道として開発されて、会津落合から十文字、野際新田、大峠（標高1468メートル）をこえて三斗小屋（栃木県）へ通ずる。下郷町自然マップ（郷土の山々）でもわかるように、この辺り帯は高山が多く、夏ともなると多くの登山者が訪れる。

ここでは、大峠付近の高山植物の一部を取り上げてみた。機会があったら、一度訪れて美しいお花畑を観察してみたいはいかがですか。登山は、大人の人といっしょにしましょう。

大峠は、福島県（下郷町）と栃木県との県境です。

【大峠から流石山にかけての傾斜面に咲き乱れるお花畑】

7月下旬に訪れた時には、ニッコウキスゲ・ヒメシャジン・ウスユキソウ・タテヤマウツボグサ・マルバダケブキ・ネバリノギラン・ハクサンフウロウ・ミヤマカラマツ・アカバナシモツケ・ヒトツバヨモギ・ガンコウラン・などの高山植物が咲きほこっていた。

7月末には、ニッコウキスゲがまっさかりとなる。



【大峠の道標（みちしるべ）のひだりの斜面が流石山】

- ・左←三斗小屋温泉
- ・右→野沢新田とあるが、野際新田のまちがいである。

ここが、栃木県と下郷町の境である。